

ジメジメ・蒸し蒸しの季節を乗り越える



ジメジメとうっとうしい季節、梅雨がやってきます。湿度が高く蒸し暑い日が続くと思えば、思いのほか涼しかったりと、過ごしにくい季節です。愛犬たちにとってもこの時期、意外と被毛や皮膚のトラブルが起きやすい、要注意季節です！

🐾 現代お散歩事情



昔は雨の中、濡れても楽しんでお散歩する中・大型犬をよく見かけましたが、最近では、雑誌などのアンケートで「雨の日はお散歩に出ない」という飼い主さんが8割近くになったりしています。犬にとってのお散歩とは、天候にかかわらず必ず行くもの、という考え方は最早過去のもの。小型犬の中には、濡れると歩きたがらないワンちゃんもたくさんいます。

そこで問題になってくるのがトイレ事情。外でしかトイレの出来ないワンちゃんの場合、天候とは無関係にお散歩に行かざるを得ません。もちろん、レインコートを着て傘をさして、愛犬と出かける雨の散歩を楽しめる飼い主さんならなんにも問題ありませんが、午間を減らしたい方や、先のことを考えると、愛犬に室内でもトイレ出来るように教えておくのがベストです。

将来愛犬が年を取った時や、体調の悪い時などに負担をかけなくて済みますね。



🐾 皮膚トラブルやニオイに注意

湿気の多い季節は、どうしても細菌が繁殖しがちです。愛犬の寝床やマット・玩具・食器などをいつもに増して清潔に保つように心がけましょう。水も、一度口を付けると雑菌が繁殖しやすいので、出来るだけ小まめに取り替えましょう。また、被毛が唾液などで濡れたままになっていると、雑菌が繁殖して変色したり、ニオイの温床になってしまいます。お散歩帰りも、お腹や足先などの汚れをちゃんと落とし、しっかり乾かしましょう。パッドのまわりの毛は小まめにカットし、お腹まわりの長毛をメリリ込んだり、サマーカットなどにすると、お手入れが楽になります。毎日ブラッシングして、死毛を落とさないようにすることも、皮膚トラブルとニオイの回避につながります。



🐾 梅雨時期こそ小布い熱中症

気温が真夏ほど高くないでも、湿度が高く、風の抜けないこの時期は、熱中症の危険性が高い時期です。今から冷房や扇風機などを上手に使用して空気の流れを作っておきましょう。

- 🐾 ただし、冷やし過ぎには要注意！また雨上がりのお散歩にも注意が必要です。晴れば強い日差しで、道路から大量に水蒸気が発生します。人間より地面に近い犬のまわりの湿度は急激に上がってしまいます。
- 🐾 貴重な晴れ間だと無理してお散歩時間を長くせず、愛犬の様子をよく観察しながら、適量なお散歩時間やコースを心がけましょう。

わんちゃん募集！！

毎月リファインおおがきのチラシにて可愛い家族わんちゃんの写真を載せていきたいと思っています。いただける方はぜひご連絡をお待ちしています。撮っていただいた写真のデータをいただくか、私達がお伺いして撮影させていただきます。

Panasonic リフォーム Club
リファインおおがき

株式会社イッシン

〒503-0917 大垣市神田町1丁目76

TEL:0120-36-1198

TEL:0584-82-3611

FAX:0584-82-3633

URL: <http://issin.reform-c.jp> E-mail: info@issink.jp

建設業許可/執業用知事許可(第-24)第12834号 一般建設工事業許可/執業用知事登録第8626号



「ワンちゃんと快適に暮らせる家が欲しい！」

そんな想いをしっかりカタチにした

マイホーム。

施工例紹介



愛犬との暮らしに特化した家づくりのポイントは？



日本では、2人暮らし以上の世帯の3軒に1軒は犬と暮らし、その内の約80%のご家庭では、人と犬が室内で一緒に暮らしているとされていますが「愛犬にとって、本当に暮らしやすい家」は、まだまだ普及していないのが現実です。今回ご紹介する愛犬家住宅は、家づくりの打合せスタート時から「ワンちゃんにとっても暮らしやすい家にしてあげたい」というお施主様の想いを、設計・デザインの段階から取り入れていくので、ご家族にとっても、愛犬にとっても暮らしやすい快適なマイホームになりました。

床の滑りやキズ、汚れに強く、お掃除がしやすい建材や、消臭機能のある素材や設備。愛犬が「自由に動き回れるスペース」と「ここは危ないから入らないで」という家の中のルールを教えやすい設計の工夫。人と愛犬が楽しく・安全に・快適に暮らすためには「設計」「設備や建材」「家の中の暮らし方」が大切ですよ。



☺️ 限られたスペースで思いっきりドッグラン！

植栽とウッドチップをレイアウトし、見た目にも

遊びバがあり、古タイヤで作ったトンネルは、愛犬もお気に入り。外部への視線を程よく遮るように、外からの刺激でロウエたりすることがないように工夫しました。



☺️ 「愛犬の居場所」を設計段階で考慮

「お料理中に足元に来られると危ないから怖い」とそんな奥様のためにキッチンには開閉式のゲートを設置。ゲートを使わない時は壁にすっきり収まるようにデザインも工夫しました。また、犬は元来狭いスペースが好きな動物なので家族の気配が感じられるリビングの一角にドッグスペースを作りました。

☺️ ちょっとした工夫でも愛犬のお気に入りの場所！



お庭に出るリビングの床は一部タイル張りにしました。陽の高い夏は日陰になりひんやり気持ち良く、陽の低い冬は日差しが差し込みポカポカ日向ぼっこができます。お庭に繋がるテラスには温水も出るシャワーを設置。愛犬のシャンプーやお散歩帰りの足ふきもラクラクすることができます。